

令和7年度

事業報告

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

はじめに

私たち老人クラブの現在の最大の課題は、老人クラブ活動の継続です。

毎年7月1日に実施している「市町村老人クラブ連合会実態調査」によれば、令和6年度の老人クラブ数は1,090クラブでしたが、昨年令和7年の調査では1,037クラブに減りました。

会員の高齢化と会長職の後継者不在という理由には、やむを得ないという気持ちもありますが、何かできることはないのでしょうか。

今年1月のゆめジャーナル神奈川では、“老人クラブに若い仲間を”というテーマを掲げ、「老人クラブの若返り戦略」という座談会を誌上開催しました。

この座談会では次のような意見が発言されました。

“若い会員を増やすには、若い世代の感覚も考えた活動の魅力化が必要。”

“子どもから高齢者まで参加できるイベントを、自治会や子ども会と一緒に開催して、地域の人に、老人クラブの活動をもっと知ってもらおう。”

“ベテラン会員だけでなく、若手会員の頑張りも評価する場を設ける”

“会長に仕事を集中させない。若手に仕事を任せる”

ある参加者のご発言がとても印象的でした。老人クラブの予備軍世代の人達と接する時には、“シニアになっても私たちはこんなに楽しく元気に生きているよ”という姿を見せようと、普段以上に気合を入れて“演技”するそうです。

老人クラブの継続のために工夫できることはまだ色々あるとは思いますが、私たち現役の“元気高齢者”から、次の老人クラブを受け継ぐ世代へ、“明るい高齢社会”を感じさせるメッセージを伝えることが大切というご発言でした。

目 次

I 事業報告

『か』 かがやいて元気に生きる	
1. 健康活動に関する事業	1
2. 生きがい及び文化活動に関する事業	3
『な』 なかまを広げて仲良く生きる	
1. 高齢者相互支援事業に関する事業	3
2. 社会参加活動に関する事業	3
『が』 学習・参加で豊かに生きる	
1. 市町村老連の強化及び指導者の養成	4
2. 広報活動事業の実施	5
3. 調査及び情報の収集提供等	6
『わ』 わくわくニコニコ楽しく生きる	
1. 役員会の開催	6
2. 老人クラブの組織の強化	7
3. 各種大会、つどい等の開催及び参加	7
4. 連絡調整事業の実施	7
5. 神奈川県への予算要望委活動	8
令和7年度新規・重点事業への取り組み	9

か

かがやいて元気に生きる

1 健康活動に関する事業

(1) 高齢者健康づくり実践教室の実施

高齢者が自らの心身の状況を把握し、日常から健康づくりを続けることを目標に、各市町村老人での健康づくり教室、フレイル予防研修などへの相談、助言、講師の紹介等の情報提供を行った。

(2) ニュースポーツ交流の集いの開催

高齢者向けのニュースポーツの普及と健康づくり並びに交流を目的に、事業活動基金を活用している。

西湘ブロック

実施日：令和7年5月29日

会場：小田原市酒匂川スポーツ広場

参加者：104人

内容：グラウンドゴルフ

湘南ブロック

実施日：令和7年11月18日

会場：秦野市戸川公園多目的グラウンドA

参加者：170人

内容：グラウンドゴルフ

横三ブロック

実施日：令和7年10月27日

会場：横須賀市リーフスタジアム

参加者：100人

内容：グラウンドゴルフ

県央ブロック

実施日：令和7年10月21日

会場：大和市スポーツセンター

参加者：35人

内容：ボッチャ

足柄上ブロック

実施日：令和7年11月21日

会場：開成町福社会館

参加者：72人

内容：カーレット

相模原ブロック

実施日：令和7年11月12日

会 場：相模原市北公園スポーツ広場
参加者：200人
内 容：グラウンドゴルフ

(3) 健康チャレンジフェアかながわ 2024 への参加

健康チャレンジフェアかながわ実行委員会（かながわ健康財団等 24 団体）に参加し、健やかで心豊かな暮らしの実現と健康寿命日本一を目指して、健康づくり実践活動の普及・啓発を目的に開催へ協力した。

令和 7 年 10 月 25 日 そごう横浜店 9 階 市民フロア内センタープラザ
テーマ：なんだかだるい卒業！からだ改革を始めよう

(4) 高齢者社会参画・生きがいづくり支援事業（県委託事業）

地域での健康づくり活動、生きがい活動、友愛活動等に取り組む老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けた高齢者の健康づくり、生きがいづくり、介護予防を推進した。

《ゆめクラブ大学》

老人クラブ会員以外の人を含め、高齢者を対象として、湘南、県央、西湘、足柄上、横三、相模原の県下 6 ブロックで「ゆめクラブ大学」を開催し、健康づくり、健康体操、介護予防に関する講座などを実施した。 866人

《地域支援事業担い手養成研修事業》

老人クラブ会員以外の人も含め、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するために必要な知識や技能を習得するための研修を実施し、社会参加の普及推進を図った。

- ・地域助け合い研修（茅ヶ崎市） 50人
- ・ICT 活用研修（葉山町、座間市、相模原市） 293人
- ・シンポジウム（1回）

オンライン形式で開催し、県外からも参加者を得て実施した。

実施日：令和 7 年 3 月 11 日 会場 神奈川県社会福祉センター

参加者 108人以上

事例発表

- ① 地域をまきこんだシニアのためのスマホ携帯教室（座間市）
- ② シニアのためのスマホ講座を通じた地域のつながりづくり（相模原市）
- ③ もっと人生を楽しもう、エンジョイ常磐町
～スマホとホームページと小さな助け合い～
（茅ヶ崎市）

講演 スマホの困りごととはつながりのタネ
東海大学 澤岡 詩野

2 生きがい及び文化活動に関する事業

(1) かながわシニアスポーツエスタ2024への協賛

(公社) かながわ福祉サービス振興会が主催する高齢者の日頃の健康づくり、スポーツ活動の成果の発表の場としての事業を後援し会員の参加を呼びかけた。

日 程：令和7年4月～8年3月 各種目ごとに県内各地域で実施

主な会場：神奈川県立スポーツセンター ほか

競技種目：スポーツチャンバラ、軟式野球、ソフトバレーボール、
Eスポーツ、サイクリング、囲碁、健康マージャンなど

な

なかまを広げて仲良く生きる

1 高齢者相互支援事業に関する事業

(1) 老人クラブ友愛チーム活動事業の推進（県補助事業）

高齢者相互支援事業の一環として、老人クラブ会員を中心に友愛チームを編成し、在宅者等を対象に日常生活の簡単な支援や話し相手となった。

友愛チームの設置：27市町老連 456チーム(内19チームは半期のみ)
(相模原市老連は別に108チーム)

(2) 友愛活動等支援事業の実施（県補助事業）

多くの高齢者が地域社会の中で生きがいのある生活を送れるよう、友愛サロン、健康に関する講座やパークゴルフなどのスポーツ活動等を県下30市町村老連で開催した。

参加者：4,399人

(3) 友愛チーム資質向上研修会の開催（県委託事業）

全国三大運動の一つとして位置づけられている友愛チーム活動について、県下6ブロックで、具体的実践活動を行う友愛チーム員の資質向上研修会を実施した。

参加者：389人

2 社会参加活動に関する事業

(1) 地域活動支援事業

ア 老人クラブ次世代・他団体との交流事業

市町村老連が行う老人クラブ活動を広く地域の人々に広報するとともに、世代間、地域間の交流を深める事業を支援した。

実施老連：8市町老連

参加者：3,112人

イ 地域の安全安心支援事業

子供の見守り活動を行っている単位クラでの登下校を中心とした見守り活動、特殊詐欺被害防止の研修会など、安全安心な地域づくり事業を支援した。

実施老連：1市町老連

参加者：63人

ウ 情報機器活用支援事業

市町村老連で進めるパソコン活用のための研修会の開催等を支援した。

実施老連：8市町老連

参加者：1,126人

(2) 老人クラブ社会奉仕の日統一活動の実施

各市町村老連において、美化活動・環境にやさしい活動等を行った。

実施日：令和7年9月20日を中心とした美化活動・環境にやさしい活動への参加を市町村老人クラブ連合会へ呼び掛けた。

(3) 共同募金街頭活動

赤い羽根共同募金運動に対して女性会議も協力して街頭募金活動を行った。

実施日：令和7年10月1日

場 所：桜木町駅

参加者：女性会議から有志参加、県老連（事務局）

が

学習・参加で豊かに生きる

1 市町村老連の強化及び指導者の養成

(1) 県老連役員研修会の開催

実施日：令和7年7月18日(第1回)

会場：かながわ県民センター

研修テーマ：新しい老人クラブを作ろう

活動事例の発表

① 秦野市横野長寿会「遊喜会」会長 山口 國雄 氏

13年振りに復活したうラブ

② 厚木市小鮎地区 飯山モナミバジルクラブ 会長 川田 直克 氏

若い人が中心に新しく結成されたクラブ

③ 寒川町シニアクラブ連合会 会長 右城 栄一 会長

自治会へ働きかけて結成されたクラブ“ソフィア椿の花サロン”

実施日：令和7年12月16日(第2回)

会 場：神奈川県民センター

全体テーマ：持続可能な老人クラブ活動、地域に開かれた老人クラブ活動について考える

専門部会討議テーマ：

「か」部会 若手会員を勧誘し老人クラブを存続していく方策

「な」部会 あなたの老人会では地域のどのような団体と交流していますか

「が」部会 友愛活動の一層の充実

「わ」部会 新しい老人クラブを作ろう

(2) ブロック別単位クラブリーダー・新任会長等研修会の開催

単位老人クラブリーダー及び新任会長を中心に、その資質の向上を目的に県下を6ブロックで実施した。

参加者：334人

(3) ゆめクラブ神奈川女性会議研修会の開催

ブロック代表者会議：4月14日

役員の変更、県老連令和7年度行事予定、女性会議研修会の予定

- 研修会 実施日：令和7年5月19日 会場：かながわ社会福祉センター
ア)「孤独・孤立対策推進法」と「つながりサポーター」
講師：生活援護課 小峰智也
イ) 民生員と友愛チーム活動の共同
事例報告：三浦市老人クラブ連合会 塚越郁子

(4) 関東甲信越静岡ブロック研修会等への参加

ア 老人クラブリーダー研修会

実施日：令和7年6月25、26日

会場：長野県軽井沢

基調講演：老人クラブの現状と課題 全老連

講演：笑いヨガ体験から小林知美流コミュニケーション術

パネルディスカッション

イ 活動推進員等研修会 横浜市で担当

実施日：令和7年7月31日

○ つながりサポーター養成講座

○ 孤独・孤立対策について

(5) 全老連研修会等への参加

「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」

実施日：令和7年12月1、2日

県老連から会員2名（小田原市、松田町）が参加した。

「基調説明」と講演

基調説明：老人クラブが取り組む健康づくり活動・生活支援 全老連

講演：

- ① 高齢期の運動による健康づくり
- ② 高齢期の食生活のあり方
- ③ オーラルフレイルの予防について

2 広報活動事業の実施

(1) 広報紙『ゆめジャーナル神奈川』の発行

県老連が単位クラブを経由して身近な情報を各クラブ会員に提供することにより県老連と会員との絆を深め、さらには市町村老連との連携強化のため「ゆめジャーナル神奈川」の発行を行った。

発行回数：2回（7月、1月）

発効部数：1万8千部

発行方法：市町村老連を通じて単位クラブ会長へ配布

また、紙面の企画・編集について編集委員会による「ゆめジャーナル神奈川」の評価と編集内容について委員会を開催した。

開催月日	内 容	会 場
7.9.12	1 令和8年新年号(第210号)の企画内容について テーマ：老人クラブに若い仲間を	かながわ 県民セン ター
8.2.16 8.3.09	1 令和8年7月号(第211号)の企画内容について テーマ：孤独・孤立の問題(作成中)	かながわ 県民セン ター

(2) ゆめクラブ神奈川ホームページによる広報

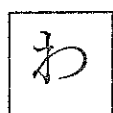
県老連の活動内容をより分かりやすくするとともに、広く一般県民に周知するために県老連事業の活動報告、県老連の概要、機関紙「ゆめジャーナル」、新着情報、お役立ち情報、ツイッターなどを掲載し、老人クラブへの理解と参加を発信した。

3 調査及び情報の収集提供等

(1) 市町村老連実態調査の実施

市町村老連の組織状況及び活動状況について調査した。

(2) 県老連事業情報の提供と市町村老連行事の収集を行った。



わくわくニコニコ楽しく生きる

1 役員会の開催

(1) 正副理事長会議の開催

県老連の運営・企画に関する事項について正副理事長会議を開催した。

開催回数：10回

(2) 理事会の開催

①令和6年度事業・決算報告、理事・監事候補者の評議員会への推薦、評議員会の開催、②役員研修会、令和7年度事業の進捗状況、県老連の財政状況、

④ 令和8年度事業計画・収支予算、評議員会の開催について協議を行った。

開催回数：3回

(3) 評議員会の開催

①令和6年度事業・決算報告、理事・監事・評議員の選任、②令和8年度事業計画及び収支予算について協議を行った。

開催回数：2回

(4) 監事会

令和6年度事業及び決算について、監事による監査を行った。

実施日：令和7年5月7日

2 老人クラブの組織の強化

(1) 会員増強運動の推進

各市町村老連において、老人クラブ加入促進月間推進要領による、10月から3月の加入促進期間を中心に、加入促進推進計画に基づいて運動を展開した。

3 各種大会、つどい等の開催及び参加

(1) 神奈川県老人クラブ等功労者のつどいの開催

実施日：令和7年11月26日

会場：横浜市開港記念会館

永年、老人クラブ活動に功績のあった個人及び団体に対して顕彰を行った。
また、高齢者福祉関係功労者等の知事表彰を併せて行った。

受賞者：知事表彰 8個人・3団体・友愛チーム5団体

理事長表彰 8団体・42個人・友愛チーム15団体、

会員増強特別賞 50団体

発展功労者 1個人

(2) 令和7年新年賀詞交歓会の開催

開催日：令和8年1月9日

会場：ホテルザノット横浜

参加者数：77名（来賓7名、友好団体・企業など7名、市町村老連63名他）

(3) 全国老人クラブ大会

実施日：令和7年11月5、6

会場：茨城県水戸市

《全老連会長表彰の受賞者》

1 育成功労者：

① 都道府県老連役員 菊池 信良（大和市）

② 郡市区町村老連役員 荻山 清治（厚木市）

③ 女性リーダー 宮本 多喜子（小田原市）

④ 若手リーダー 鶴田 國夫（茅ヶ崎市）

2 優良老人クラブ連合会：大和市シニクラブ連合会

3 優良老人クラブ：飯沢末広会（南足柄市）

4 連絡調整事業の実施

(1) 県下ブロック老連連絡調整会議

県下市町村老連を6ブロックに区分し、幹事老連を事務局として、市町村老連の情報交換と県老連事業の企画のために連絡調整会議を行った。

6ブロック：計29回

(2) 市町村老連事務局長（担当者）会議の開催

市町村老連、ブロック老連と県老連の連携を密にすることにより、相互の事業が充実することを目的とする会議。

開催日：令和8年3月25日

会場：かながわ県民センター

議 題：令和7年度補助金等実績報告書の提出について
令和8年度事業計画及び収支予算について
令和8年度補助金等交付申請書の提出について
令和8年度重点目標について

(3) ブロック及び市町村老連が開催する大会等への参加

ブロック老連や市町村老連が開催する連絡会議、研修会、グラウンド・ゴルフ大会、ゆめクラブ大学、担い手養成研修、友愛研修等に職員を派遣した。

(4) 県、政令市老連連絡調整会議

県老連、横浜市老連及び川崎市老連の三者が、各老連が抱える課題等について、情報提供や意見交換を行った。

開催日：令和7年12月19日

場 所：崎陽軒本店

参加者：9名

議 題：令和7年度の予算、事業計画について
その他情報提供、意見交換

(5) 全国老人クラブ連合会

理事長、女性会議代表、事務局長が参加した会議

令和7年6月18日 評議員会

令和7年7月30日 事務局長会議

令和8年2月4, 5日 代表者会議

令和8年3月12日 理事会

(7) 神奈川県、神奈川県社協等

神奈川県の各局が主管する審議会や委員会、協議会・部会等並びに（福）神奈川県社会福祉協議会評議員会等に役職員が構成員として参画した。

5 神奈川県への予算要望活動

県知事、県議会議長、県議会厚生常任委員会委員長へ予算要望を行った。

① 市町村による老人クラブ活動への理解とコミュニケーションの強化

② 孤独・孤立対策への貢献

③ 1老人クラブ1友愛チーム(地域共生社会の実現へ)

④ 神奈川県老人クラブ連合会の運営基盤の強化への支援

⑤ 県委託費・補助事業のブロック対象事業の見直し

⑥ 県社会福祉協議会との連携の強化

⑦ 新しい老人クラブのあり方

⑧ 老人クラブ活性化への新たな助成金

・SNSを活用した老人クラブの見える化に必要な補助金

・ブロック連絡会議への助成

・県内ブロックでのニュースポーツ交流大会への助成

令和7年度新規・重点事業への取り組み

(1) 新しい老人クラブを作ろう

第1回役員研修会のテーマに取り上げ、新たなクラブ結成の事例を3クラブから発表し意見交換を実施。また新しい老人クラブへの助成金を設置し、6クラブへ助成した。

(2) ICTを活用した仲間づくりの促進

地域活動支援事業費、地域支援事業担い手養成研修事業(新しい生活様式でつながる研修、シンポジウム)等で普及に努めた。

(3) 地域の多様な団体・組織、地域住民と連携した老人クラブ活動の推進

「持続可能な老人クラブ活動、地域に開かれた老人クラブ活動」をテーマに第2回役員研修会で実施し、グループ討議を実施した。

(4) 女性会員のパワーの発揮

正副理事長会議への女性会議の代表、副代表の参加、各ブロックでの連絡会議への各市町村の女性の活動推進員の出席により、女性会員の意見の反映を図った。

(5) 友愛活動の一層の充実

神奈川県からの友愛活動等を対象とした活動支援金の活用をすすめ、友愛チーム活動の奨励に努めた。

(6) 県老連の財政再建に向けた継続的で不断の見直し

令和5年度の「魅力あふれるゆめクラブ神奈川再生特別委員会」を正副理事長会で引き継ぎ、令和7年度から人件費の削減等を行うとともに、神奈川県への補助金等の増額を要望し、補助額の増額、孤独・孤立対策に関する新事業を受託。

令和7年度

収支決算

ゆめクラブ神奈川・マスコットキャラクター



ゆめクラブ神奈川
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

目 次

貸借対照表	1
正味財産増減計算書	2
正味財産増減計算書内訳表	4
財務諸表に対する注記	6
附属明細書	8
財産目録	9
貸借対照表(内訳表)	10
監査報告書	11

貸借対照表

令和 8年 3月31日現在

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	12,236,522	8,442,297	3,794,225
未収金	1,100	0	1,100
立替金	0	7,500	△ 7,500
流動資産合計	12,237,622	8,449,797	3,787,825
2. 固定資産			
(i) 基本財産			
定期預金	1,000,000	11,000,000	△ 10,000,000
投資有価証券	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	11,000,000	21,000,000	△ 10,000,000
固定資産合計	11,000,000	21,000,000	△ 10,000,000
資産合計	23,237,622	29,449,797	△ 6,212,175
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	66,359	6,235,452	△ 6,169,093
預り金	66,105	127,326	△ 61,221
賞与引当金	704,516	899,000	△ 194,484
流動負債合計	836,980	7,261,778	△ 6,424,798
負債合計	836,980	7,261,778	△ 6,424,798
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	21,400,642	21,188,019	212,623
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	20,000,000	△ 10,000,000
正味財産合計	22,400,642	22,188,019	212,623
負債及び正味財産合計	23,237,622	29,449,797	△ 6,212,175

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会

(単位: 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	23,000	23,170	△ 170
基本財産受取利息	23,000	23,170	△ 170
受取分担金	5,812,000	6,149,000	△ 337,000
受取分担金	5,812,000	6,149,000	△ 337,000
事業収益	737,000	666,000	71,000
機関紙等収益	80,000	90,000	△ 10,000
各種行事開催収益	657,000	576,000	81,000
受取補助金等	15,204,000	19,509,000	△ 4,305,000
受取地方公共団体補助金	15,204,000	16,169,000	△ 965,000
受取民間補助金	0	3,340,000	△ 3,340,000
受取委託費	7,069,000	7,069,000	0
受取地方公共団体委託費	7,069,000	7,069,000	0
受取寄付金	300,536	1,463,178	△ 1,162,642
受取寄付金	90,536	38,000	52,536
受取県共募寄付金	60,000	1,000,000	△ 940,000
受取事業活動基金	0	265,178	△ 265,178
受取賛助会費	150,000	160,000	△ 10,000
雑収益	296,814	200,439	96,375
受取利息	25,299	11,754	13,545
雑収益	271,515	188,685	82,830
経常収益計	29,442,350	35,079,787	△ 5,637,437
(2) 経常費用			
事業費	25,497,539	37,084,565	△ 11,587,026
給料手当	6,184,783	9,496,973	△ 3,312,190
賞与引当金繰入	1,698,719	735,000	963,719
退職給付費用	0	3,170,731	△ 3,170,731
法定福利費	1,273,000	1,584,107	△ 311,107
共済掛金	0	86,765	△ 86,765
福利厚生費	0	83,569	△ 83,569
会議費	21,940	160,175	△ 138,235
旅費交通費	491,655	1,282,950	△ 791,295
通信運搬費	352,532	576,029	△ 223,497
消耗品費	208,224	597,127	△ 388,903
印刷製本費	382,082	420,723	△ 38,641
修繕維持費	155,898	208,215	△ 52,317
賃借料	1,889,044	3,032,560	△ 1,143,516
保険料	3,400	0	3,400
諸謝金	110,390	469,330	△ 358,940
支払手数料	110,327	108,319	2,008
租税公課	0	10,000	△ 10,000
支払負担金	60,000	1,306,500	△ 1,246,500
支払助成金	12,401,500	12,702,593	△ 301,093
委託費	52,545	1,052,899	△ 1,000,354
雑費	101,500	0	101,500

管理費	3,732,188	5,198,765	△ 1,466,577
給料手当	1,457,530	2,238,081	△ 780,551
賞与引当金繰入	126,216	164,000	△ 37,784
退職給付費用	0	547,421	△ 547,421
法定福利費	269,313	358,521	△ 89,208
共済掛金	0	72,235	△ 72,235
福利厚生費	48,010	20,414	27,596
会議費	33,600	0	33,600
旅費交通費	286,577	278,821	7,756
役員費	0	74,200	△ 74,200
通信運搬費	68,225	60,910	7,315
消耗品費	50,355	3,483	46,872
印刷製本費	47,181	10,932	36,249
修繕維持費	39,462	52,705	△ 13,243
賃借料	362,038	355,446	6,592
支払手数料	445,661	463,526	△ 17,865
租税公課	2,570	1,070	1,500
支払負担金	456,000	497,000	△ 41,000
雑費	39,450	0	39,450
経常費用計	29,229,727	42,283,330	△ 13,053,603
評価損益等調整前当期経常増減額	212,623	△ 7,203,543	7,416,166
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	212,623	△ 7,203,543	7,416,166
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	212,623	△ 7,203,543	7,416,166
一般正味財産期首残高	21,188,019	28,391,562	△ 7,203,543
一般正味財産期末残高	21,400,642	21,188,019	212,623
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	22,400,642	22,188,019	212,623

正味財産増減計算書内訳表

令和 7年 4月 1日から令和 8年 3月31日まで

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	23,000			23,000
基本財産受取利息	23,000			23,000
受取分担金			5,812,000	5,812,000
受取分担金			5,812,000	5,812,000
事業収益	80,000	657,000		737,000
機関紙等収益	80,000			80,000
各種行事開催収益		657,000		657,000
受取補助金等	15,204,000			15,204,000
受取地方公共団体補助金	15,204,000			15,204,000
受取民間補助金				0
受取委託費	7,069,000			7,069,000
受取地方公共団体委託費	7,069,000			7,069,000
受取寄付金	284,538	36,000		300,538
受取寄付金	54,538	36,000		90,538
受取県共募寄付	60,000			60,000
受取事業活動基金				0
受取賛助会費	150,000			150,000
雑収益	257,648	2,060	37,108	296,814
受取利息			25,299	25,299
雑収益	257,648	2,060	11,807	271,515
経常収益計	22,898,184	695,060	5,849,106	29,442,350
(2) 経常費用				
事業費	24,545,991	951,548		25,497,539
給料手当	5,957,501	227,282		6,184,783
賞与引当金繰入	1,676,527	22,192		1,698,719
退職給付費用				0
法定福利費	1,223,385	49,615		1,273,000
共済掛金				0
福利厚生費				0
会議費	21,940			21,940
旅費交通費	488,855	2,800		491,655
通信運搬費	352,532			352,532
消耗品費	182,002	26,222		208,224
印刷製本費	378,075	4,007		382,082
修繕維持費	155,898			155,898
賃借料	1,281,044	608,000		1,889,044
保険料	3,400			3,400
諸謝金	110,390			110,390
支払手数料	98,897	11,430		110,327
租税公課				0
支払負担金	60,000			60,000
支払助成金	12,401,500			12,401,500
委託費	52,545			52,545
雑費	101,500			101,500
管理費			3,732,188	3,732,188
給料手当			1,457,530	1,457,530
賞与引当金繰入			128,216	128,216
退職給付費用				0
法定福利費			269,313	269,313
共済掛金				0
福利厚生費			48,010	48,010
会議費			33,600	33,600
旅費交通費			286,577	286,577
役員費			0	0
通信運搬費			68,225	68,225
消耗品費			50,355	50,355
印刷製本費			47,181	47,181
修繕維持費			39,462	39,462
賃借料			362,038	362,038
支払手数料			445,661	445,661
租税公課			2,570	2,570
支払負担金			456,000	456,000
雑費			39,450	39,450
経常費用計	24,545,991	951,548	3,732,188	29,229,727
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,647,807	△ 256,488	2,116,918	212,623
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,647,807	△ 256,488	2,116,918	212,623

2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額				0
当期一般正味財産増減額	△ 1,647,807	△ 256,488	2,116,918	212,623
一般正味財産期首残高	22,331,533	△ 1,723,016	579,502	21,188,019
一般正味財産期末残高	20,683,726	△ 1,979,504	2,696,420	21,400,642
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	0	0	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	0	0	1,000,000
III 正味財産期末残高	21,683,726	△ 1,979,504	2,696,420	22,400,642

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券

償却原価法(定額法)によっている。

(2) 引当金の評価基準

賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	11,000,000	0	10,000,000	1,000,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
合 計	21,000,000	0	10,000,000	11,000,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位: 円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	1,000,000	(1,000,000)	(0)	-
投資有価証券	10,000,000	(0)	(10,000,000)	-
合 計	11,000,000	(1,000,000)	(10,000,000)	-

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位: 円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時 価	評 価 損 益
神奈川県第229回公募公債	10,000,000	9,836,790	△ 163,210
合 計	10,000,000	9,836,790	△ 163,210

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位: 円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 事業費補助金	神奈川県	0	15,204,000	15,204,000	0	-
合 計		0	15,204,000	15,204,000	0	

6. 引当金の明細

(単位: 円)

科 目	期 首 残 高	当期増加額	当 期 減 少 額		期 末 残 高
			目的使用	そ の 他	
賞与引当金	899,000	704,516	899,000	0	704,516

7. 資産除去債務に関する事項

当法人は、横浜市神奈川区の本部事務局について神奈川県からの県有財産賃貸借契約書に基づいて使用している。同契約書には退去時における原状回復義務が明記されているが、当該債務に関連する賃貸借期間が明確でなく、財産管理者から原状回復義務が免除される場合もあるため、資産除去債務を合理的に見積もることができない。そのため、当該債務に見合う資産除去債務を計上していない。

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

2. 引当金の明細

財務諸表に対する注記6. に記載をしているので、内容の記載を省略する。

財産目録

令和 8年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	8,712	
普通預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	運転資金として	6,938,739	
	横浜銀行 横浜駅前支店	運転資金として(補助金口座)	1,546,468	
	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	運転資金として(事業活動基金口座)	428,527	
	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	運転資金として(基金口座)	246	
	横浜沢渡郵便局 横浜駅西口郵便局	運転資金として 運転資金として(事業活動基金口座)	2,839,864 473,966	
未収入金		心のうた1冊分	1,100	
流動資産合計			12,237,622	
(固定資産)				
基本財産	定期預金	三井住友信託銀行 横浜駅西口支店	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の財源として使用している。	1,000,000
	投資有価証券	神奈川県第229回公募公債	公益目的保有財産であり、運用益を老人クラブ事業の財源として使用している。	10,000,000
固定資産合計			11,000,000	
資産合計			23,237,622	
(流動負債)				
	未払金		経費3月分	68,359
	預り金	職員	所得税、社会保険料等預り分	66,105
	賞与引当金	職員	職員3名に対する賞与引当金	704,516
流動負債合計			836,980	
負債合計			836,980	
正味財産			22,400,642	

貸借対照表内訳表

令和 8年 3月31日現在

公益財団法人 神奈川県老人クラブ連合会



(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	合計
I 資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	8,913,980	473,966	2,848,576	12,236,522
現金	0	0	8,712	8,712
普通預金	8,913,980	0	0	8,913,980
郵便貯金	0	473,966	2,839,864	3,313,830
未収金	1,100	0	0	1,100
立替金	0	0	0	0
会計・事業配賦	2,343,922	△ 2,431,278	87,356	0
流動資産合計	11,259,002	△ 1,957,312	2,935,932	12,237,622
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
定期預金	1,000,000	0	0	1,000,000
投資有価証券	10,000,000	0	0	10,000,000
基本財産合計	11,000,000	0	0	11,000,000
固定資産合計	11,000,000	0	0	11,000,000
資産合計	22,259,002	△ 1,957,312	2,935,932	23,237,622
II 負債の部				
1. 流動負債				
未払金	14,063	0	52,296	66,359
預り金	5,105	0	61,000	66,105
賞与引当金	556,108	22,192	126,216	704,516
流動負債合計	575,276	22,192	239,512	836,980
負債合計	575,276	22,192	239,512	836,980
III 正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	1,000,000	0	0	1,000,000
(うち基本財産への充当額)	1,000,000	0	0	1,000,000
2. 一般正味財産	20,683,726	△ 1,979,504	2,696,420	21,400,642
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	0	0	10,000,000
正味財産合計	21,683,726	△ 1,979,504	2,696,420	22,400,642
負債及び正味財産合計	22,259,002	△ 1,957,312	2,935,932	23,237,622

監査報告書

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会
理事長 安藤正義 殿

令和8年5月7日
公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会

監事 中村民世 
監事 玉田 稔 

私、監事は令和7年4月1日から令和8年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。